

家庭科学習指導案

指導者 浦上 千歳

日時 平成28年11月19日(土) 第2校時(11:05~11:55)

年組 中学校第3学年1組 計20名(男子9名, 女子11名)

場所 中学校家庭教室

単元 わたしたちと家族・家庭と地域

単元について

現代において、社会状況の変化はめまぐるしい。情報社会、高度経済成長がもたらした暮らしの変化の中で、人は自立した生活者として、基本的な知識・技術はもちろんのこと、それを活用できる力が求められている。つまり、自らの生活状況を把握し、その解決方法を意思決定し、実行できる生活者としての生活実践力を育成することが必要である。本題材は、中学校までに、家庭科の授業で学んできた知識・技術を、自分たちで計画した SMART (修学旅行) という場面の中で実際に活用されていることを再認識させる。そこから新たな課題を発見させることで、教科を超えて社会が関連していることを実感できる題材を設定できるところに意味がある。そのことは、「何を学んだか」ではなく、それを活用して「何ができるようになったか」という、「グローバル時代をきりひらく資質・能力」につながっており、生活者の視点から社会を見つめる目をもつ一助となると考えている。

本学級の生徒は、7月に3泊4日の SMART (修学旅行) を行った。本校では、SMART を総合的な学習に位置づけており、その取り組みは2年時より始まる。特徴的なのは、1日目は各班に課題が与えられ京都市内の班別研修、中2日間の活動については、4~5人のグループで自分たちの研究テーマを持ち、活動計画を一から作ることである。よって4日間うち、3日間はグループ活動となる。このように、多くの学校に見られる集団での移動活動はほとんど無い。また、1, 2年生で領域 B「食生活と自立」領域 C「衣生活と自立」領域 D「環境」を学び、3年生になって領域 D「身近な消費生活」を学習している。

指導に関しては、生徒たちがこれまで学んできた家庭科の学習を最大限に生かせるであろう SMART を授業の中で扱う。本校の SMART は、グループ活動の場面が多く、それは宿泊先での過ごし方にまで至る。すなわち、グループで旅行をしているような形態となっている。朝起きるところから出発、移動、食事、就寝までの過ごし方まで、すべて自分たちの判断で行動しなければならない。このことは、家庭科で学習してきた要素が随所に入っていることになるため、生活者としての力が試される場となる。その活動を振り返ることから、課題を発見し、原因を探り後輩へ提案していく学習と、それぞれの課題から発見したことを、説得力を持って相手に伝える必要があることから、一人だけの振り返りにとどまらず、グループでの共通体験から新しいものを生み出すという、協働的問題解決を仕組めると考えた。

指導目標

1. 自分たちの課題から発見したことを、説得力を持って相手に伝えることができる。

指導計画 (全3時間)

1. SMART を振り返ろう 1時間
2. 課題解決のための調査 2時間
3. ○○に○○を提案します 1時間 (本時)

本時の目標

自分たちが課題追求した結果を用いて、他者に説得力を持って改善点を提案することができる。

協働的問題解決を生起させるための手立て

生徒にとって考える必然性のある問いにするために、生活を見つめ直す場面として SMART を設定したことが、第一の手立てである。また、考える必然性を生みやすくするために、次世代に確実に生かされる場面設定として、最終ゴールを後輩や先生への提案としたことが、第二の手立てである。いきなり失敗したこと、困ったことをあげると言われても生徒の思考が働かないので、マンダラートを活用して、思考を刺激したことが第三の手立てである。

学習の展開

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点 (◆評価)
<input type="checkbox"/> SMART の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ SMART の活動の概略 ・ 発表までの学習の振り返り 	<input type="checkbox"/> SMART の日程や生徒の様子などを写真を活用して紹介し、本校の修学旅行の特徴を確認させる。 <input type="checkbox"/> 対象者（後輩など）への思いを込めた発表にさせるために、これまでの学習の流れを振り返る時間をとる。（アクティブボード使用）
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 〇〇に〇〇を提案します！ </div> <p><input type="checkbox"/> 提案発表をする。</p> <p><発表者></p> <p>発表事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの失敗例 そこから出た課題 問題の原因・理由など 新提案 提案対象者 <p><聞き手></p> <p>評価表の記入</p> <p>1 グループから必ず 1 回は質問・意見を出さ せる</p> <p><input type="checkbox"/> 他のグループからの評価表を元に、自分たちの提案を振り返る。</p>	<p><input type="checkbox"/> 発表方法に条件をつけ、聞きやすい発表の工夫をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 グループ発表時間 5 分 <li style="padding-left: 20px;">質疑応答 2 分 ・ パワーポイントのスライド 5 枚まで ・ 全員で発表する <p><input type="checkbox"/> 他のグループの発表を評価することで、自分たちの提案内容や提案の仕方を振り返らせるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 他の班が発表する課題についても、自分が同じ失敗をしていることも多いので、質問・意見を考えることで、後輩だけでなく自分たちのこれからの生活に生かしていける意識を持たせる。</p> <p>◆自分たちが提案したい相手に、説得力を持って新提案ができています（提案者として）</p> <p style="text-align: right;">【生活を工夫し創造する能力】</p> <p>◆その提案が妥当であるかについて意見・質問を出している。（聞き手として）</p> <p style="text-align: right;">【生活を工夫し創造する能力】</p>